

## 1 市の概要

人口 109,551 人  
保護率 0.9 %

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当(件)  
一月当たり 8.7  
プラン作成件数人口10万人当(件)  
一月当たり 4.4  
就労支援対象者数人口10万人当(件)  
一月当たり 1.4  
就労・増収率(%) 42.1

## 3 実施方法について

実施方法	委託 ①単年契約 ②随意契約
事業費	7,000千円（2事業所）
理由（委託）	④サポステを運営しているNPO法人と、⑥救護施設の2ヶ所に委託。それぞれのノウハウを本事業に活かして、支援者の状態に合わせたきめ細かい支援が行える。 自立支援機関でのアセスメント、本人の希望を踏まえて、就労準備支援機関を選択。
事業概要	④就労支援員 2名 ⑥就労支援員 3名 ④キャリアコンサルタントの資格を持つ就労支援員による、一般企業での就労体験・模擬面接・履歴書の作成指導・ハローワークへの同行訪問、サロンやパソコン教室の開催など、就労準備支援を行うことにより、早期に自立が見込まれる対象者を中心に支援。 ⑥長期のひきこもり等により、すぐには就労が難しいと思われる対象者に、施設内で入居者が行っているさまざまな作業活動に参加してもらう。利用者が希望する作業体験を基に、個別の支援計画をたて、日常生活自立支援・社会生活自立支援、就労自立支援を計画的かつ一貫して支援。まずは生活のリズムを整え、社会性を身につける支援をする事により、就労による自立を目指す。ビニールハウスや農地など、花卉や野菜等の栽培に取り組める環境が整っており、就農訓練も実施。
その他特記事項	救護施設においては、就労訓練の認定も受けており、就労準備支援事業のステップアップの場としても利用され、就農も含めた就労を目指している。

## 4 事業実績（H30年度）

利用者	就職者	
	就労支援へのつなぎ	
34	18	15

## 5 事業実施のポイント ～救護施設の強みを活かした支援

救護施設では、利用者の方に、作業だけでなく、居場所や仲間も提供している。施設内の行事（小学生との校外学習、祭り、縁日）や、学習支援等の子供達を招待した収穫体験（夏野菜・芋ほり）にも参加。平成30年度は、施設外の空き家を改修した居場所作り活動「chouchou(チュウチュウ)」において、子供達との工作教室、ハロウィーンパーティなどを実施しました。自分の“したい事”を計画・実行する力作りや、社会における自分の強みや役割を知ってもらう場となりました。

救護施設では24時間・365日、利用者の方からの連絡を受ける事が出来るので、不安になった時や緊急時等、利用者の声を聞き対応している。

また、定期的に自宅訪問を行い住環境改善のアドバイスや家族関係の調整等も行っている。



## 6 取り組んで良かったこと

○就労準備支援事業を開始した当初は皆さん表情が曇っていましたが、明るい表情で作業に参加出来るようになりました。収穫の時など、とても嬉しそうな表情をされていました。

○時間を定めて就労準備支援事業を実施することで規則正しい生活がおくれるようになり、仕事に出かける意識を持てるようになりました。

○自分の仕事と居場所と仲間がいる事で、利用者の方が自信を持つようになったと感じています。